

護身の外、口家も民族意識も有るの事合は
 物六時、西野文作表令嬢の結婚披露
 宴が、1/食堂で催された。令嬢はアゲオのTwin Full
 いて、昨日美以教会に於て結婚式を挙げる事になって
 いる。出席者約七十有餘名、余呉町表令嬢から
 来た。Internasの結婚披露、これには珍らしいもの
 だが、有聲に演奏の甚しの存、~~何れか~~心算に感か
 らの明朗気分がもたらしたのは、周囲の環境上余儀
 あり。

一日昨日、新 Internas 三名が収容され、其中一名は
 テキサス州カルベトン市から拘引されたといふ。

二月廿一日(日)。

今度中キャンプから廿一名が release される旨
 本日報道された。其の公表は明日の豫定されてい
 ると云ふ。右は特任の命を受け、タン・准少将が、離
 任の挨拶を来たる際、置土産だと言って去つたものと
 報せられ、確実なものとする。尚ほ約十バセント
 を残し、残りの全部をリリースするにはパロールと率と
 付へられてゐる。昨今、右のリリースは今後相南廣
 範囲の實現を見るもの、解いてもよい。

後のリリースの報道を繰り、キャンプ内には多
 少の動揺空氣がみえ、つゞは中然ではある
 が、従来の如き騒々声は、すかぬと率つたのは興
 味深い。之れは就いて、右らが意外に思つた事は、

大量
 リー
 スの
 報道。

岡崎董先生の考案である。全亮は都監獄に米
沈着組の筆頭であり、日米戦に対する認識も徹
底に視へ、インターは日中関係として当然甘受すべ
き名義の大犠牲であるとし、損害賠償とか取
け又家族に対する悪々々情さへも、寧ろ英視
た位毅然たるものがあったにも拘らず、昨今の
全亮の心境に一大変化をもたらした如く観
望できた。先達、戸外を一兵がAh mailの配
達を大声と聲いながら名を呼び歩き回って
降。同氏は自分マツからハウツウの南端窓
へ、常レックスはの勢で早歩で飛んで来て、不安さ
うに戸の方を、いきなり覗くのであった。其の面長の
顔に緊張を覚えていたので、僕は心配のあまり
"おややあ、大丈夫なん"と肩を叩いた処、彼
氏は"リリース"かと思つて、ほんと安堵が一
層の憂鬱が形実にかたき足で、北端のベッドへ
戻った。僕も昨日前記の報道後向もろく佐
々木浩作先生か、何月と"リリース"した連仲の
オフェースに列を車に待つてゐる"とデマを飛ばした。
すると岡崎先生は復も不安さうに窓に寄り、切角
眺めをのぞいてゐたか、"なんだ、喧嘩"と言って、バツ
裏さうに床つた。はい、向ほ不安らしいと見て、
今日は下駄を穿つて出かけた。此等の光景と
目撃したものは聊か不安を感じざるを得な
い。全亮は血脈高く、日米健康を此の爲の

525

が、家族に対する愛別、情更に深きものを生ずるに到つたのではあらうか。リリースに関し、昨今頗る神経が敏感に振つてゐる事だけは十分察知でき、今迄の家族は family center に一家同棲が拘はしてゐる筈なのに、其の種の情勢変化情報のため、煩悶して居るのではある。同様の事を宗教的に敬養され自信と有つ人の老衰のため精神的に弱を来つたのは、實に同情すべきである。即ち神統の神官は、リリース殆んど不可能とせしめ設けられるに至つては、誤り降の情に堪へぬものから。僕は、岡崎老の前で、今ねらまりリリースをコレいふやう人々に勧めた。

ねから春雨、いほりと云々感だ。

三月一日(月)。

Family Center に移動すべき第一先為隊とも云ふべき人々の姓名が、昨日非公式に関係知人から通知される。その中からは、ヤ林虎一君一名だけであるが、若くは #1906 倉倉からは石塚國三郎である。この姓名の発表をめぐり俗の如く村々の噂がキャンプ内に流布され寧ろ滑稽さ現出する。然し色々の風説やら推測と符合に、此キャンプの大半は family center に移住を強制されるものと考察する可からず。前記リスト中には、先きに Relocation center に在る家族も尚茨 Internet と、移住に對